

## 令和7年度対キルギス無償資金協力「農産物バリューチェーン強化計画」に関する 交換公文の署名及び交換

2月19日（木）、キルギス共和国国立農業大学において、平野隆一駐キルギス共和国日本国特命全権大使と中井恒二郎世界食糧計画キルギス事務所代表兼所長との間で、供与限度額7.16億円（450万米ドル）の対キルギス無償資金協力「農産物バリューチェーン強化計画（WFP 連携）」に関する交換公文の署名及び交換が行われました。本案件は、国際機関であるWFPと国際協力機構（JICA）の共同で実施されることから、西形康太郎 JICA キルギス事務所所長と中井所長との間で、同計画に関する贈与契約の署名が行われました。署名式には、トロバエフ・バキット内閣副議長兼水資源・農業・加工産業大臣も出席しました。

同事業では、キルギスにおいて農業が気候変動の影響や水不足といった課題に直面している現状を踏まえ、ジャララバード州、オシュ州、バトケン州において、干ばつに強い野菜・果樹の導入や、気候変動に適応した農業インフラの整備を通じて、農業生産性の向上を図ります。また、小規模農家による自助グループや農業協同組合の形成・強化を支援するとともに、能力強化研修を実施することで、持続可能な農業経営の確立及び市場との連携強化を図ります。これにより、キルギスにおける食料安全保障の向上と産業多角化を後押しし、もってキルギス共和国の持続的発展に寄与することが期待されます。

